

豊田市職員DX人材育成方針

ver1.1

令和6年9月26日策定
(令和7年4月1日改定)

Ver1.1:第9次豊田市総合計画の策定に伴い改定

1	背景・目的と 位置づけ	はじめに	P 2
----------	------------------------	-------------	------------

2	目指す職員像	豊田市のDX人材育成体系	P 5
----------	---------------	---------------------	------------

3	対象別育成方針	職位と研修種別のマトリクス	P 8
----------	----------------	----------------------	------------

市民サービス向上や業務効率化を確実に遂行するためには、DXを進められる人材を全庁を挙げて育てる必要があります！

- 行政ニーズの多様化やデジタル化・グローバル化の進行により、**豊田市職員が担うべき業務は大きく変わりつつあります**。それに加え、パンデミックや自然災害など経験したことのない大きな変化の唐突な到来に伴い、**社会環境は日増しに複雑化しています**。
- 市民サービス向上や業務効率化を行うために「豊田市デジタル強靱化戦略」を策定し、市としてDXを推進していますが、**デジタルやITの専任組織だけでは豊田市役所のDXは実現できません**。何より大切なのは、各部門に所属する**全ての職員がデジタル技術の可能性を知り、最大限に利活用することによって現場の業務を更に磨き上げていくこと**です。
- 豊田市が定めている「人材育成基本方針」では、市民目線で自律的に改革・創造に挑戦できる人材の育成を目指していますが、**この「DX人材育成方針」では、特にデジタル分野において個々の職員の自己啓発にとどまらない、組織としてのDX人材育成を行っていくことを定めます**。

本方針は、DXの側面から「総合計画に掲げる豊田市の将来像」の実現に貢献するものとして定めます。

豊田市第9次総合計画

ミライ構想

将来像
つながる つくる 暮らし楽しむまち・とよた

まちづくりの基本的な考え方（＝将来像の実現に向けた、市民・行政の行動規範）

3つの「発想の転換」

- ①「個の充足・完結」から
「つながり・関係性の広がり・深まり」重視へ
- ②「ないものを補う」から
「あるものを生かす」発想へ
- ③「行政がリードするまちづくり」から
「多様な主体が作り上げるまちづくり」へ

3つの「行動の変容」

- ①見方を「変える」＜気づく＞
- ②思考を「変える」＜考える＞
- ③行動を「変える」＜行動する＞

将来都市構造 拠点連携型都市

DX人材育成方針

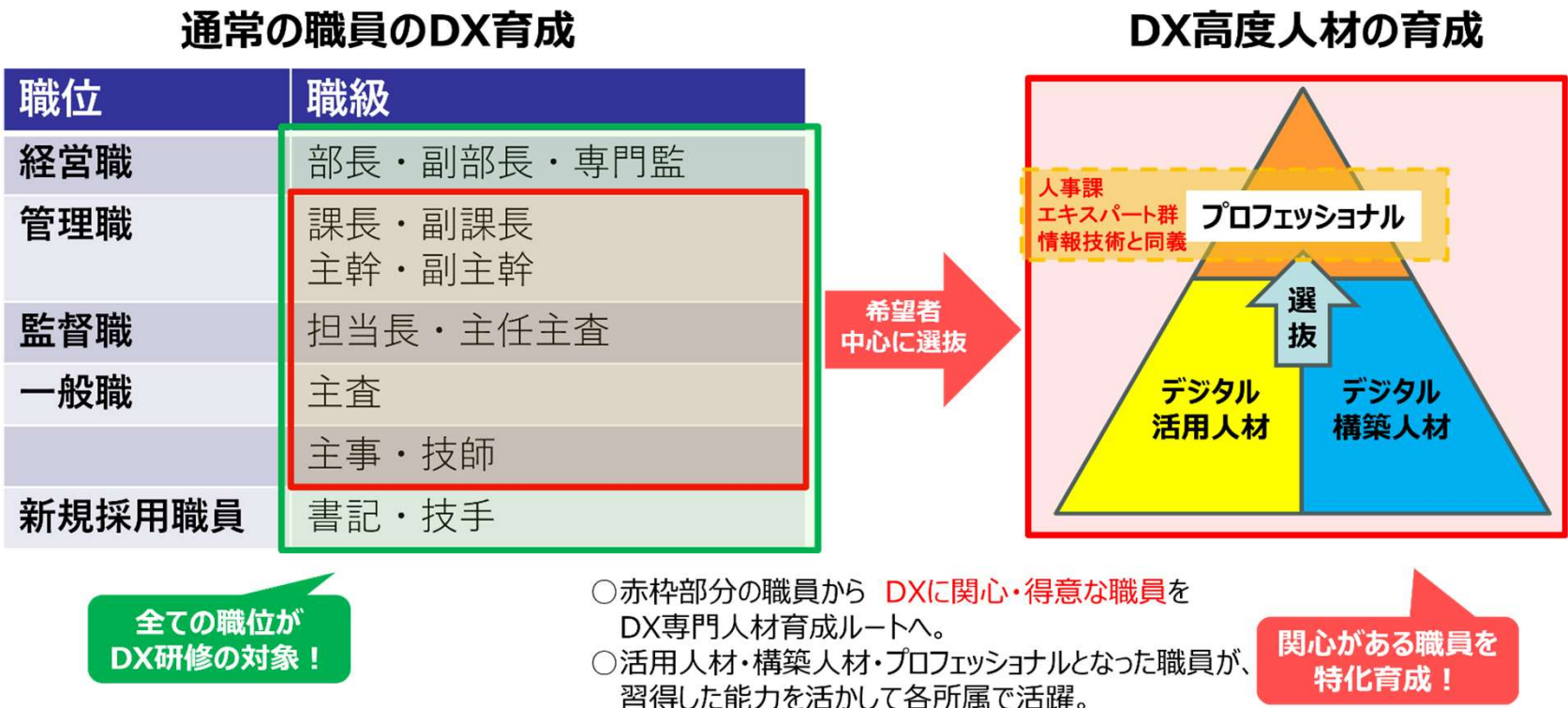
DX人材育成にかかる部分を具体化

人材育成基本方針

職員の実情に応じた研修内容・実施方法を考慮し、 以下の取り組みを順次行っていきます！

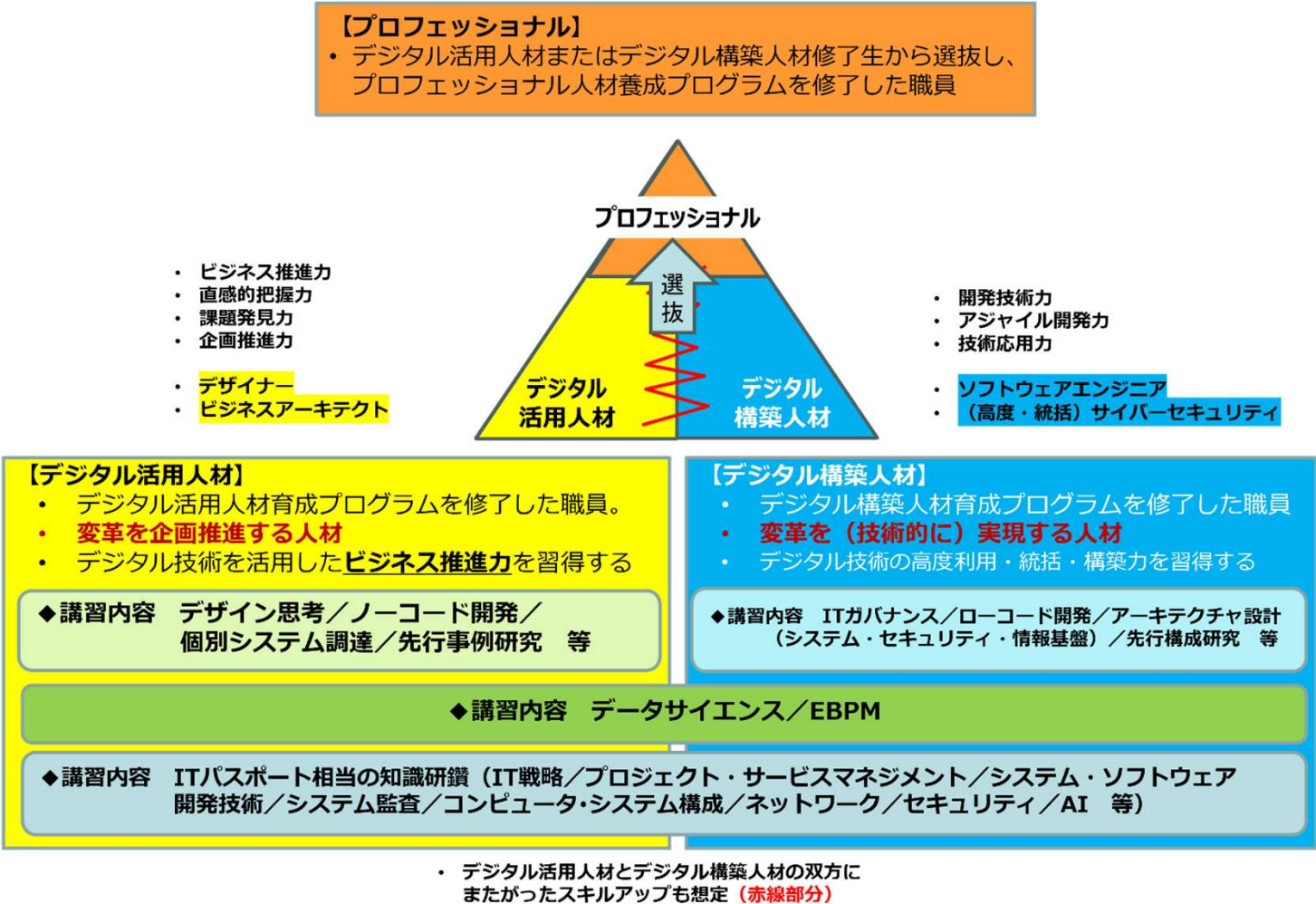
- **【一番大事！】各職場でDX関連研修に参加しやすい組織風土・職員意識を生み出し、気兼ねなく研修に参加できるようにします。**
- 研修は動画形式を中心に、業務に則した内容のロールプレイ形式・ハンズオン形式も併せて実施していきます。
- ロールプレイ形式の研修対象は、ある程度行政業務を把握した職位≒主査級以上とします。
- 動画・オンライン受講形式の場合、窓口業務中心の職員が参加しづらいため、集合研修のような受講形式も検討します。
- 時間外の任意研修やスキルアップの推奨、きっかけづくりを実施し、興味の醸造を行います。

全職員のDXレベル向上を進めるとともに、DX高度人材を 庁内から生み出していきます！



- 各職位の職員に対し、職位に応じた様々なDX関連研修を実施し、底上げ・組織風土の定着を図ります。
 - 中堅～管理職の中から、DXに関心がある・得意な職員にDX高度人材育成ルートの特化型研修等を行います。
 - 各職員層のDX人材育成によって目指すべき姿を以下のとおり定めます。
- 経営層**：DXの意義を理解し、職員にDX推進を指示できることに加えて、障害になるものがあれば積極的に取り除くことができる。
- プロフェッショナル人材**：DX推進方針を打ち出すことができ、部局横断的にDX推進を牽引できる。
- デジタル活用・構築人材**：現場・業務を熟知した上で、課題解決や市民ニーズに対応するため所属のDX推進を牽引できる。
- 全職員**：行政DXを推進する上で必要な考え方（DXの意義やITリテラシー等）を理解している。＝全職員のDX人材化

DX高度人材の詳細イメージ



- DX高度人材育成ルートの中から更に選抜した職員を「プロフェッショナル」として位置付けます。
- デジタル活用人材・構築人材は共に、特定の課での活躍にとどまらず、全庁の所属での活躍を前提とします。

中堅職員から「DX高度人材」を多く生み出し、 各職場で職場全体をリードします！

DX高度人材の育成イメージ

職位	ペルソナ（現状の豊田市職員像）		ロールモデル（将来の豊田市職員像）
中堅職員 ～監督職	- 現場の業務を熟知しており、そこに問題・課題意識を持っている - 周りの職員を巻き込みながら主体的に業務を推進できる	- ビジネス推進力がある - 各種ツールで自分の業務を効率化した経験がある - データ利活用に興味がある	→ ★デジタル活用人材（全庁で約180人） - DXの概念を理解し、人に説明できる - ツールを用いて課内業務をDXできる - ツールありきではないDXの実施 - 協力意識がある
		- システム構築・運用を行ったことがある - ベンダーと協議を行える	→ ★デジタル構築人材（全庁で約90人） - デジタル知識を有し、デジタル構築の最適解を検討できる - Slerとして機能、他課支援を実施
管理職 経営層	デジタル活用人材、デジタル構築人材として活躍した経験がある		→ ★プロフェッショナル人材（全庁で約10人） - 全庁のDX方針を打ち出せる - 複数課にまたがったDX事業を指揮できる ※人事異動制度のエキスパート人材（情報技術分野）と同義の存在として扱う

7つの研修種別の研修を実施します！

(※年度ごとに実施・未実施・内容変更の可能性あり)

研修種別	概要	内容例（一部抜粋）
DX意識	DXの定義や必要性の理解・ 推進方法の習得、デザイン思考の理解	CDO研修、BPR研修、官民共創研修
ITリテラシー	ITリテラシーの習得	IT入門研修
セキュリティ	セキュリティに関する知識習得やインシ デント発生時の対応方法の理解・実践	標的型攻撃メール訓練
ツール群	各種デジタルツールの利活用方法の習得 や活用意義の理解	ノーコード・ローコード開発ツールや 電子申請システムのハンズオン研修
データサイエンス・ EBPM	データ分析のために必要なデータクレン ジング手法や分析方法の理解・習得	データ分析研修、 BIツールハンズオン研修
AI	AI技術（生成AI等）の仕組みや 効率的な利用方法の理解	外部機関提供のAI動画研修
エンジニアリング	ローコードツールやエクセル業務効率化 に必要なコーディングスキルの習得	各種プログラミング言語研修

職位ごとに研修の狙い・ゴールを分類、明確化して 研修を実施します！

研修種別	職位	一般職			監督職	管理職	経営職
	新規採用職員	主事・技師	主査				
DX意識		概ね全職員が統一的に理解 ※立場に応じて範疇・用途が異なるので、研修内容は非同一					
ITリテラシー							
セキュリティ							
ツール群		業務に利活用できる			意義・効果等を理解		
データサイエンス・EBPM		意義・効果等を理解し、 利活用できる (興味関心あれば積極的な習得)					
AI							
エンジニアリング							
					意義・効果等を理解		

DX高度人材には、より高度な研修を実施します！

（※年度ごとに実施・未実施・内容変更の可能性あり）

分類 研修種別	デジタル活用人材 デジタル構築人材	プロフェッショナル
DX意識	(どちらかというと活用人材が) 深く理解した上で推進できる	全てに関して 全庁のDX推進を牽引できる ※一部の種別に特化する人材 も想定
ITリテラシー	概ね双方が 深く理解した上で、 策定や構築に携われる	
セキュリティ		
ツール群		
データサイエンス・ EBPM		
AI	(どちらかというと構築人材が) 深く理解した上で構築できる	
エンジニアリング		